

市指定・加藤光正墓



<http://digitalarchiveproject.jp/information/市指定・加藤光正墓>



〈市指定〉昭和 30 年 11 月 7 日

〈所有者〉法華寺

〈所在地〉天性寺町 62 番地

〈時代〉江戸時代(17 世紀)

〈員数〉1 基

五輪塔(1 基)総高 285 cm

東山法華寺の裏山にある。光正 1 周忌の寛永 11 年(1634)7 月 16 日建立、天明年間(1781~1789)一部を修造した。光正(光広)は熊本藩主加藤忠広の嫡子で、清正の孫にあたる。寛永 9 年(1632)忠広は参府の途中、品川で入府を差し止められた。次いで肥後 1 国を没収され出羽庄内の酒井忠勝に預けられ、光正は飛驒に流された。改易の理由は明らかでないが、江戸で生まれた子を将軍大喪の折ひそかに国もとへ送ったためとか、土井利勝が謀反の偽書を諸大名に回送したとき忠広だけ届け出なかったためとか伝えられている。

高山藩主金森重頼に預けられた光正は、生涯月俸 100 口を賜わり、天照寺に閉居し、寛永 10 年(1633)7 月 16 日病死した。享年 19 歳(法華寺光正碑)であった。

加藤氏・木村氏等は光正の従臣で、光正の死後も当地に居住した。

参考文献

『高山の文化財』197~198 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年 3 月 31 日



001_①後ろ側・遠景・四方・その1001



002_①後ろ側・遠景・四方・その1002



003_①後ろ側・遠景・四方・その1003



004_①後ろ側・遠景・四方・その1004



005_①後ろ側・遠景・四方・その1005



006_①後ろ側・遠景・四方・その1006



007_①後ろ側・遠景・四方・その1007



008_①後ろ側・遠景・四方・その1008



009_①後ろ側・遠景・四方・その1009



010_①後ろ側・遠景・四方・その1010



011_①後ろ側・遠景・四方・その1011



012_②後ろ側・遠景・四方・その2001



013_②後ろ側・遠景・四方・その2002



014_②後ろ側・遠景・四方・その2003



015_②後ろ側・遠景・四方・その2004



016_②後ろ側・遠景・四方・その2005



017_②後ろ側・遠景・四方・その2006



018_②後ろ側・遠景・四方・その2007



019_②後ろ側・遠景・四方・その2008



020_②後ろ側・遠景・四方・その2009



021_②後ろ側・遠景・四方・その2010



022_②後ろ側・遠景・四方・その2011



023_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓001



024_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓002



025_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓003



026_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓004



027_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓005



028_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓006



029_③すぐ横の大原彦四郎妻の墓007



030_④前側四方001



031_④前側四方002



032_④前側四方003



033_④前側四方004



034_④前側四方005



035_④前側四方006



036_④前側四方007



037_④前側四方008



038_④前側四方009



039_④前側四方010



040_⑤墓・全景001



041_⑤墓・全景002



042_⑥墓の各部001



043_⑥墓の各部002



044_⑥墓の各部003



045_⑥墓の各部004



046_⑥墓の各部005



047_⑥墓の各部006



048_⑥墓の各部007



049_⑥墓の各部008



050_⑥墓の各部009



051_⑥墓の各部010



052_⑥墓の各部011



053_⑦墓の下側・四方001



054_⑦墓の下側・四方002



055_⑦墓の下側・四方003



056_⑦墓の下側・四方004



057_⑦墓の下側・四方005



058_⑦墓の下側・四方006



059_⑦墓の下側・四方007



060_⑦墓の下側・四方008



061_⑦墓の下側・四方009



062_⑦墓の下側・四方010



063_⑦墓の下側・四方011



064_⑧付近の集積墓001